

循環型の社会(4R)をめざして 【ごみを減らそう リサイクルしよう】

近年、社会経済活動が拡大し、生活が物質的に豊かになる一方で、大村市は、家庭から約18,942トン（平成28年度）という多量のごみが排出されるとともに、焼却施設の膨大な維持管理費等の問題が山積している状況にあります。

また、焼却することにより、地球温暖化などの地球的規模での環境問題にも密接に関係しています。

これからは、大量生産、大量消費、大量廃棄型の従来の社会の在り方やライフスタイルをこれまで以上に見直し、社会における物質循環を確保することにより、天然資源の消費が抑制され、環境への負荷ができる限り低減される「循環型社会」の実現を図ることが必要です。

Refuse = リフューズ

断る
(家に持ち込まない)

レジ袋削減のため、マイバッグ持参運動に参加しましょう。
商品を包む袋や包装紙は、できるだけ簡易包装にしてもらい、ごみにならないようにしましょう。



Reduce = リデュース

減らす
(ごみを出さない)

必要のないものは買わず、壊れにくく長持ちする商品を選びましょう。



Reuse = リユース

再使用する
(繰り返し使う)

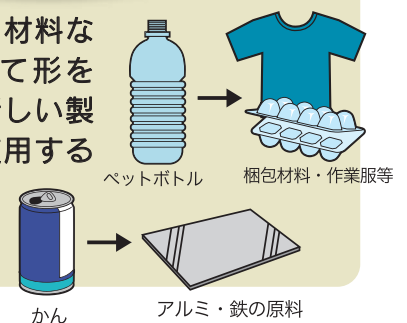
お風呂の水の再利用、お米のとぎ汁は棄てずに植木鉢にかける等、工夫しましょう。壊れたり故障しても、まだ使えるものはフリーマーケットなどに出して再使用してもらいましょう。



Recycle = リサイクル

再生利用する
(資源として再活用)

使用済みの製品、材料などを原材料として形を変えて再生し、新しい製品、材料として使用することをいいます。



※ごみ減量化推進(その他)

- (1) 生ごみリサイクル
- (2) 雑草の堆肥化